

「100人の小さなジャーナリストプロジェクト」のご紹介とお願い

グレートアマゾンフィッシングラリー協会

代表理事 小野田 啓介

100PJ 担当理事 浅野 剛史

○ はじめに

グレートアマゾンワールドフィッシングラリー（以下グレアマ）は、ただの「釣り大会」のイメージに留まらないグローバルな付加価値を、アングラーとともに創り上げる、世界レベルのイベントを目指します。そのためにメインイベントであるフィッシングトーナメントに加え、「付加価値イベント(value adding event)」と呼ばれるサイドイベントを実施します。最も重要視しているサイドイベントが「100人の小さなジャーナリストプロジェクト(以下 100PJ)」です。両イベントは車の両輪のように、様々な相乗効果を創り出すことを目指します。

○ 100PJ とは？

<https://rally.fish/ja/100pj/>

詳しくは上記の協会 URL をご参照下さい。アマゾンの子供が自らの自然の大切さに気付くだけでなく、グレアマとのタイアップにより世界から訪れたチームや関係者と触れ合い、またイベント情報を発信することにより世界と対話する扉が開かれます。これが地域の社会・環境・経済の発展につながると私達は考えています。前回大会の1カ月前、2019年6月14日、協会から開催地の子供たちへスマートフォンを授与するイベントをルイスアルベスにて実施しました。はじめて、スマートフォンを持った子供たちの中には嬉しさのあまり涙を流す姿もありました。この日から大会期間まで、様々な瞬間を将来の世代のために記録し、ジャーナリストとして写真、記事、映像を作品として残しました。

○ 私達が考えるアングラーの地位：

グレアマのサイドイベントとして、社会振興、自然保全を目的とした100PJを実施する上で、象徴的な役割、使命を担うのは、世界から参加するアングラーであるべきだと考えています。アングラーとは古今東西、自然を知り尽くしたエキスパートです。自然に一番近い場所で自然の恩恵を受けてきた一方、自然の変化を敏感に感じ取って来ました。世界のアングラーは、開発の目撃者、自然を知る知識人としての誇りと自覚を持って、未来を担う子供たちへ正しい情報を伝え、あるべき未来へと導く役割を持つことが私達の願いです。100PJは、この願いを具現化するためのプロジェクトです。アングラーがその役割を果たすことによって、アスリートとしての地位向上も目指します。

○ 100PJにおけるアングラーの役割

もし可能であれば、彼らからグレアマの Facebook などに投稿される記事に反応してあげて下さい。子供たちだけでなく、地元の市役所、父兄が、皆さんを出迎える準備をしています。皆さんが現地入りする際は、彼らは温かく出迎えてくれるでしょう。もしジャーナリストから声がかかれば、出来るだけイ

インタビューに答えてあげてください。もし選手や関係者からも、もし小さな記念品などがあれば、小さなジャーナリストたちはとても喜ぶでしょう。

補足説明

100人の小さなジャーナリストプロジェクトとは。 Project 100 Little Journalist Corps (100PJ)

1. はじめに - 100PJの目指す未来

私達が実現したいのは在り来たりな環境教育でも、独りよがりの自然保護運動でもありません。メインイベントである Fishing Rally との相乗効果により、新しい価値を持った、環境、社会へ貢献するプロジェクトです。私達は「100人の小さなジャーナリストプロジェクト(以下 100PJ)」を実施することにより、富者と貧者、都会と地方などの置かれた環境の差に関わらず、子供たちが平等に情報を得られる環境を目指します。同時にインターネットを使って世界へ繋ぎ、同年代の子供たちと一緒に、環境や社会の課題を理解し、未来のために共に何をすべきか考える機会を提供します。これは子供たちが未来の選択肢を選ぶにあたって大きな支えとなるでしょう。

2. 目的：

100PJ を主催する GAWFR は、「自然と闘うための究極のエンターテイメントの創造と実施を通じて、環境と社会の持続可能な発展に貢献すること」を目的に設立されました。それを実現するためにメインイベントである釣り大会と、「付加価値イベント(value adding event)」と呼ばれるサイドイベントを実施します。100PJ はサイドイベントであり、具体的な目的は2つあります。

- ✓ 地元を巻き込み、地域社会が一体となって世界レベルのイベントを体験することによって、経済、環境、社会面での様々な影響を与え、持続的な発展を目指した訓練、目標達成のための動機付けをすること。
- ✓ 地域の子どもたちに環境教育と社会教育の機会を提供し、また世界への視野を広げ、将来の地域社会の持続的な発展に貢献する力を養うこと。

3. 100PJの基本コンセプト：

- 小さなジャーナリスト部隊 (Corpo de Jornalistas Pequenos) を、イベント開催地に住んでいる学生から40~100人を選ぶことによって結成します。
- 協会のパートナーは地元の学校、市政府の教育、環境に関わる部署のスタッフから組織され、彼らには学生達を日常的に教育し導くことが期待されています。
- 学生の選抜は、作文、描画、スピーチのコンテストを行うことを基本としますが、パートナーである学校、市政府の教育方針に基づいて行うこととします。
- 小さなジャーナリスト部隊の使命は、世界レベルのイベントを体験し、自然環境、生活などを世界へ

発信しコミュニケーションを行うことです。彼らの活動はイベント期間中に留まらず日常生活における様々な瞬間を切り取り、その出来事を将来の世代のために記録することが期待されています。

- そのためのツールとして小さなジャーナリスト部隊はスマートフォンを受け取ります。協会から派遣された講師が、スマートフォンの使い方や作品の撮り方などについて、基本的なスキルを教えます。
- チームに分割された学生ジャーナリストは、映像を記録する楽しみ、素晴らしさを感じながら活動を続けます。
- 作品は映像の着眼点、レポートの質などを競い、3つのカテゴリーから優秀賞が選ばれます。それぞれ証明書と副賞を授与されます。作品の媒体は、写真、記事(テキスト/ナレーション)、ビデオの3つ。協会が組織する評価委員会によって選考されます。

4. 100PJの主な作業内容：

① イベントの準備段階

- 作文、絵画、スピーチコンテストによるジャーナリストの選考
- ジャーナリストのチームの編成(年齢、ジェンダー、ハンディなどを考慮)
- チーム代表による学生大使/学生実行委員会(Little Ambassadors/Student Committee)の組織
- 結団式、委託式(Mission Giving Ceremony)、スマホの支給
- オリエンテーション(スマホの使い方、作品の撮り方、世界とのコミュニケーションの方法など)

② イベントの実施段階

- Ambassadorsとしての活動
- イベントキックオフでの活動
- インタビュー、取材活動
- 作品の提出

③ イベントの終了時、終了後

- 作品の選考会の実施
- 結果の発表、賞状・賞品の授与
- 継続した活動への動機付け

5. 100PJを支える組織体制

100PJの実施には、多くのボランティアが必要です。彼らは継続的に子供たちを見つめ、働きかけ、喜びや悲しみを共感することが期待されます。

① 100 PJ Supporters = ボランティアグループ

- TOKYO 100PJ Supporters (リーダーとメンバーで構成)
- GOIAS 100 PJ Supporters (リーダーとメンバーで構成)

② 現地実行委員会(executive committee) = 審査委員会

③ 各国サテライト (特派員)

以上